



令和4年度 越前町立宮崎中学校スクールプラン

◇越前町教育目標

全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現

◇学校教育スローガン

個性と協働が共存する学校教育

～個性を尊重し多様な人々と協働しながら課題に取り組む～

◇目指す生徒の姿

- ・主体的に学び、考え、活動する生徒
- ・豊かな人間関係を築き、協働する生徒
- ・学校や故郷を誇りに思う生徒

◇生徒の実態

- ・素朴で、何事にも真面目に取り組む生徒が多い。
- ・男女、先輩後輩が分け隔てなく、良い人間関係を築いている。

【校訓】

みずから求めて進み そして 自分の最善をつくす

【教育目標】

主体性、協働性、創造性の育成

【研究主題】

「主体性を生み出す授業の創造」

項目・重点目標

具体的取組

数値目標

◎【活力のある学校・学級づくり】

生徒の主体性を育み、互いに認め合い、高め合う集団をつくる。

- ・生徒の思いや考えを尊重した行事や生徒会活動を促す。
- ・「凡事徹底」（時間、挨拶、返事、感謝、清掃）を合言葉に、全職員が率先垂範し一貫した指導に努める。
- ・校訓の具現化に繋がる学級目標を設定し、実現を図る。
- ・ポジティブ教育、レジリエンス教育、ピアサポートを充実させる。
- ・PDCA サイクルを活用し、上記の活動等を充実させる。

- ・よりよい行事や生徒会活動の実現のために、主体的な態度で取り組むことができたと言える生徒90%以上（よくできた50%以上）
- ・「凡事徹底」を意識して学校生活を送ることができたと言える生徒90%以上（よくできた50%以上）
- ・校訓をもとにした学級目標の実現に向けて学校生活を送ることができたと言える生徒90%以上（よくできた50%以上）
- ・ポジティブ教育で学んだ内容を生かし、前向きに学校生活を送ることができたと言える生徒90%以上（よくできた50%以上）
- ・学校生活において、PDCA サイクルで取り組むことができたと言える生徒90%以上（よくできた50%以上）

【望ましい生活習慣の育成】

心身ともに健康で安全な生活を送る。

- ・睡眠や食事、余暇時間の使い方など、望ましい生活習慣を身につけさせる。
- ・健康や安全について外部の専門家から学ぶ機会を設ける。
- ・適切なメディア使用について、生徒の自律的な実践を支援し、家庭との連携強化を図る。

- ・睡眠や食事、余暇時間の使い方など、望ましい生活習慣を心がけて生活することができたと言える生徒が80%以上（よくできた50%以上）
- ・外部の先生方から学んだことを、生活に生かそうとすることができたと言える生徒90%以上（よくできた50%以上）
- ・適切なメディア使用を心がけることができたと言える生徒80%以上（よくできた50%以上）

◎【授業づくり】

学習に向かう気構えと主体的な学びを促し、課題解決力を育てる。

- ・単元構想を生徒と共有し、めあてを明確に示し、学びを振り返る時間を設ける。
- ・対話を通して高い価値を生み出す授業を創造する。
- ・ICT機器を有効に活用し、生徒が主体的・協働的に活動できる学習や活動を設定する。
- ・ふるさと宮崎や越前町のよさを再認識できる学びを計画的に進める。

- ・めあてを達成するために、粘り強く考えたり、取り組んだりすることができた。80%以上（よくできた50%以上）
- ・仲間の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりして、新たな発見や視野の広がりが見られた。80%以上（よくできた50%）
- ・興味関心を持ってタブレットを活用し、調べたり、まとめたりすることができた。80%以上（よくできた50%以上）
- ・ふるさと宮崎のよさを知っている。80%以上（よくできた50%以上）

【家庭学習・読書の充実】

自ら課題を持って取り組む家庭学習と読書の習慣化を図る。

- ・学びの定着や個人に即した課題を設定（選択）し、家庭学習の習慣化を促す。
- ・課題意識を持たせ、タブレットも活用しながら家庭学習で探究し続ける仕組みを整える。
- ・図書に触れる機会を増やし、読書環境の充実に努める。

- ・宿題をする習慣が身についた。100%（よくできた80%以上）
- ・自主学習ノートを使って、自ら課題を見つけ、探究し続けることができた。80%以上（よくできた50%以上）
- ・1学期 400 ページ、2学期末 800 ページ、年間 1000 ページの読書量に達した。80%以上

【信頼される教育環境づくり】

「通ってよかった、通わせてよかった、勤めてよかった、あつてよかった」と思える学校をつくる。

- ・現状を適切に見極め、教職員が共通理解し、柔軟な対応と共通実践を行う。
- ・安全安心な環境整美と施設設備を整える。
- ・家庭、地域、関係機関との連携を深め、情報の収集と発信をする。
- ・業務や行事等の適正化や効率化を図り、生徒と向き合う時間を確保する。

学校業務改善

重点目標

「時間外勤務時間 80 時間ゼロ」

具体的取組

- ・時間外勤務の自己管理
- ・業務や行事の見直しと効率化
- ・協働業務の意識向上

豊かな心と健やかな体

未来を拓く学力

信頼される学校